

# あいち子ども・若者育成計画 2022

～子ども・若者が健やかに成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして～

## 2018-2022



平成30年8月

### 表紙デザインのテーマ

勇気という風を純白の帆に受け、夢に向かって舵を取る、  
若き旅人の船出をイメージしています。



本県の子ども・若者は、県人口が増加を続ける中、昭和50年頃から減少が始まり、現在はピーク時より100万人近く少ない約313万人となっています。このように、子ども・若者人口が減少する一方で、子ども・若者を巡る課題は、年々、複合的かつ複雑化しています。

特に、昨今、青少年を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、ひきこもり、不登校、貧困など、困難を抱える子ども・若者の自立支援が、大きな課題となっています。また、スマートフォンの急速な普及に伴い、青少年にとって有害な情報が氾濫したり、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）に起因する子どもの犯罪被害が拡大するなど、インターネットの利用に係る問題は、深刻さを増しています。

本県では、平成13年3月に「あいちの青少年育成計画21」を、平成22年3月に「あいち子ども・若者育成計画2010」を策定し、すべての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援を総合的・計画的に推進してまいりましたが、こうした社会の変化や新たな課題に対応するため、「子ども・若者の生活実態・意識調査」を実施するとともに、有識者会議での検討を経て、今般、「あいち子ども・若者育成計画2022」を策定しました。

新たな計画では、様々な困難を抱える子ども・若者への支援として、子どもの貧困問題への対応を新たに盛り込むとともに、子ども・若者の「活躍」を新たな視点として加え、世界に誇るものづくりなどの、愛知の強みを伸ばすための人材や、世界と向き合えるグローバル人材の育成等、未来をつくる子ども・若者の活躍を後押しすることとしました。

また、すべての子ども・若者にエールを贈るため、愛知に縁<sup>ゆかり</sup>がある、困難を乗り越えて活躍されている方々や、寄り添いながら育成・支援をされている方々からの、「応援メッセージ集」を計画に添えました。

この計画の推進にあたっては、教育委員会、警察本部を含めた県の関係部局の緊密な連携はもとより、国、市町村、様々な民間組織等とも協力し、一体となって取り組んでまいります。また、家庭や地域の果たす役割が大きいことから、県民の皆様にも御協力を賜り、社会全体で、子ども・若者の育成に取り組むことが必要です。

県民の皆様には、この計画の策定にあたり、貴重な御意見をいただき深く感謝申し上げます。愛知の未来をつくる子ども・若者が、夢を持ち、夢に向かって明るく元気に活躍できる「すべての人が輝く愛知」の実現に向け、今後とも、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年8月

愛知県知事  
大村秀章

# 目 次

## 第1章 計画の基本的な考え方 ..... 2

- 1 計画の趣旨 ..... 2
- 2 計画期間 ..... 2
- 3 計画の性格、位置づけ ..... 2
- 4 子ども・若者の範囲と計画の対象者 ..... 3
- 5 計画の基本理念・施策目標 ..... 4
- 6 計画の特徴 ..... 4
- 7 施策の体系 ..... 5
- 8 あいち子ども・若者サポートマップ ..... 6
- 9 あいち子ども・若者への応援メッセージ集 ..... 8
- 10 点検、評価 ..... 11

## 第2章 現状と課題 ..... 12

- 1 社会環境の現状と課題 ..... 12
- 2 子ども・若者をめぐる現状と課題 ..... 21

## 第3章 推進施策 ..... 38

### I 全ての子ども・若者の健やかな育成 ..... 38

- 1 健やかな体と豊かな心の育成 ..... 38
  - (1) 基本的な生活習慣の形成 ..... 38
  - (2) 健やかな体と豊かな心の育成 ..... 38
- 2 今を生き抜く力の養成 ..... 39
  - (1) 学力の向上 ..... 39
  - (2) 社会の変化への対応 ..... 40
  - (3) 健康に関する教育と支援の推進 ..... 42
- 3 若者の職業的自立、就労等支援 ..... 43
  - (1) 働く意欲、職業能力の養成 ..... 43
  - (2) 就労等支援の充実 ..... 44
- 4 子ども・若者の自立を育む多様な交流 ..... 45

### II 困難を抱える子ども・若者やその家族への支援 ..... 47

- 1 困難を抱える子ども・若者の総合的な支援 ..... 47
  - (1) 子ども・若者支援地域協議会の設置促進と活性化 ..... 47
  - (2) 子ども・若者に関する相談体制の充実 ..... 48
- 2 困難な状況に応じた取組 ..... 49
  - (1) 子どもの貧困問題への対応 ..... 49
  - (2) 児童虐待防止対策 ..... 51
  - (3) 外国人の子ども・若者の支援 ..... 52
  - (4) 自殺対策 ..... 53

(5) 障害等のある子ども・若者の支援	54
(6) 学校におけるいじめへの対応、不登校の子どもへの支援	56
(7) 若年無業者等の若者の支援	57
(8) ひきこもりの若者の支援	57
(9) 性的少数者に対する理解促進	58
(10) 非行防止、非行・犯罪に陥った子ども・若者の支援	59

### Ⅲ 子ども・若者の成長のための地域社会づくり 60

1 家庭、学校、地域全体で子ども・若者を育む環境づくり	60
(1) 保護者等への積極的な支援	60
(2) 「チームとしての学校」と地域との連携・協働	61
(3) 地域全体で子どもを育む環境づくり	61
2 地域で子ども・若者を支える担い手の育成	62
3 子ども・若者が安心して暮らせる社会環境づくり	63
(1) 有害環境への対応	63
(2) 子ども・若者の福祉を害する犯罪対策	65
(3) 子ども・若者が犯罪等の被害に遭わないまちづくり	65
4 子育て支援等の充実	66
5 ワーク・ライフ・バランスの推進	67

### Ⅳ 未来をつくる子ども・若者の活躍促進 68

1 愛知の産業の担い手となる人材の育成	68
2 グローバル社会で活躍する人材の育成	70
3 世界で活躍するスポーツ選手、芸術家の育成	71
4 社会貢献活動等に取り組む若者の応援	72

## 第4章 推進体制の整備・充実 73

1 県の体制の整備	73
2 国・市町村との連携の充実	73
3 民間組織との連携の充実	73

## 数値目標 75

## 参考資料 77

1 策定過程	77
2 愛知県青少年育成推進本部設置要綱	78
3 子ども・若者の育成支援を考える有識者会議	79
4 子ども・若者の生活実態・意識調査	80
5 子ども・若者育成支援推進法	81
6 子供・若者育成支援推進大綱（概要）	85

## 1 計画の趣旨

本県では、平成13年3月に「あいちの青少年育成計画21」を、平成22年3月に「あいち子ども・若者育成計画2010」を策定し、これまで様々な施策を推進してきました。

しかしながら、昨今、貧困の連鎖、地域社会のつながりの希薄化、急速なスマートフォンの普及など、子ども・若者を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、子どもの貧困、虐待、いじめ、不登校、ひきこもり、SNS被害など、子ども・若者をめぐる課題は大変憂慮すべき状況となっています。

一方で、本県は、世界に誇るモノづくり産業を始めとする産業県であり、この強みをさらに伸ばしていくための人材育成や、アイデンティティを確立したグローバル人材の育成は、愛知の輝く未来にとって重要な課題です。

こうした現状や課題を踏まえ、子ども・若者が健やかに成長し、夢や希望を持って自立・活躍できる社会を実現するため、「あいち子ども・若者育成計画2022」（以下「計画」という。）を策定しました。

## 2 計画期間

2018年度から2022年度までの5年間とします。

なお、社会情勢の変化に対応し、迅速かつ柔軟に施策を推進するため、必要に応じて見直しを行います。

## 3 計画の性格、位置づけ等

- ・本県が、子ども・若者の健やかな成長と自立を支援していくための行動指針とします。併せて、全ての県民が連携・協力し、地域の実情に応じて子ども・若者の健やかな育成を推進するための指針とします。
- ・「子ども・若者育成支援推進法」第9条第1項に基づく「都道府県子ども・若者計画」とします。また、平成28年2月に決定された、国の「子供・若者育成支援推進大綱」を踏まえた中期計画となっています。
- ・平成26年3月に策定した本県の総合計画「あいちビジョン2020」を踏まえた個別計画とするとともに、関連する他の個別計画と相まって、子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援を行います。
- ・平成31年（2019年）5月に改元が予定されていますので、本計画では、平成31（2019）年4月までは元号「平成」で表記し、平成31年（2019年）5月以降は西暦を使用するとします。なお、計画期間については、終期が改元後となることから、西暦で統一しています。

## 4 子ども・若者の範囲と計画の対象者

計画の対象となる子ども・若者の範囲は、0歳からおおむね30歳未満としますが、社会生活を営む上で困難を抱える方、大学等において社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を養う努力を続けている40歳未満の方も多く存在することから、これらの方も対象とします。

施策によっては、40歳以上の方も対象とします。対象となる子ども・若者の支援にあたっては、対象年齢の終期以降のライフサイクルも見通した長期的な視点から取り組みます。

### 《参考》各種法令などによる呼称と年齢区分

法令等の名	呼称等	1	5	6	10	12	14	15	18	20	25	30	35	40	
民法	未成年者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
学校教育法	学齢児童 ※1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	学齢生徒 ※2	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
児童福祉法	児童	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	乳児	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	幼児 ※3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	少年 ※4	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
労働基準法	児童 ※5	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	年少者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
勤労青少年福祉法	勤労青少年 ※6	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
刑法	刑事未成年者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
少年法	少年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
未成年者喫煙禁止法 未成年者飲酒禁止法	未成年者	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
愛知県青少年保護育成条例	青少年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律	青少年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
子ども・若者育成支援推進法	子ども・若者 ※7	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
子供・若者育成支援推進大綱(平成28年策定・国)	青少年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	子供	乳幼児期 ※8	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		学童期 ※9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	子供・若者	思春期 ※10	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		青年期 ※11	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	若者	ポスト青年期 ※12	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

2022年4月から、成年年齢が18歳に引き下げられ、未成年者は18歳未満となります。

呼称等欄に※印のないものの年齢区分は、該当年齢未満の者で、※印のあるものの年齢区分は、次のとおり

- ※1 満6歳に達した日の翌日以後における最初の学年の初めから、満12歳に達した日の属する学年の終わりまでの者
- ※2 小学校又は特別支援学校の小学部の課程を終了した日の翌日以降における最初の学年の初めから、満15歳に達した日の属する学年の終わりまでの者
- ※3 1歳から小学校就学の始期に達するまでの者
- ※4 小学校就学の始期から18歳に達するまでの者
- ※5 15歳に達した日以後の最初の3月31日が終了するまでの者
- ※6 法律上は規定なし。青少年雇用対策基本方針では、上限をおおむね35歳未満としている。(厚生労働省)
- ※7 法律上は規定なし。子ども・若者の範囲は、0歳から30歳代の者を含むとしている。(内閣府)
- ※8 義務教育年齢に達するまでの者(内閣府)
- ※9 小学生の者(内閣府)
- ※10 中学生からおおむね18歳までの者(内閣府)で、子どもから若者への移行期として、子ども、若者それぞれに該当する場合がある。
- ※11 おおむね18歳からおおむね30歳未満までの者(内閣府)
- ※12 大学等において社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を養う努力を続けている者や円滑な社会生活を営む上で困難を有する、40歳未満の者(内閣府)

## 5 計画の基本理念・施策目標

### 〈基本理念〉

子ども・若者が健やかに成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして

### 〈施策目標〉



愛知の子ども・若者が、それぞれ自立し、未来の担い手として活躍できるよう、**健やかな体と豊かな心を育む社会づくり**をめざします。



すこやか



様々な困難を抱える子ども・若者に寄り添い、**一人一人の状況に応じた支援が行われる社会づくり**をめざします。



よりそい



家庭、学校、地域社会が成長を支える存在として、**つながりながらその役割を果たし、地域全体で育む社会づくり**をめざします。



つながり



愛知の子ども・若者が、未来に向かって、夢や希望を持って前進できるよう、**活躍を後押しする社会づくり**をめざします。



あと押し

## 6 計画の特徴

- ・ 基本理念に、子ども・若者の「活躍」を新たな視点として盛り込みます。
  - ・ 「モノづくり」が盛んな愛知の強みを継承し、さらなる発展に繋げるため、施策目標として、「IV 未来をつくる子ども・若者の活躍促進」を新たに加えます。
  - ・ 推進施策として、「子どもの貧困問題への対応」や、子ども・若者の活躍を後押しする人材育成（◎ 愛知の産業の担い手となる人材の育成、◎ グローバル社会で活躍する人材の育成、◎ 世界で活躍するスポーツ選手、芸術家の育成、◎ 社会貢献活動等に取り組む若者の応援）を新たに加えます。
- ※ 愛知に縁のある、困難を乗り越えて活躍されている方々や、育成・支援に携わっている方々(11名)による「あいち子ども・若者への応援メッセージ集」を添え、全ての子ども・若者にエールを贈ります(参照：P8)。



(基本理念)

(施策目標)

(推進施策)

子ども・若者が健やかに成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして	I 全ての子ども・若者の健やかな育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健やかな体と豊かな心の育成               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な生活習慣の形成</li> <li>(2) 健やかな体と豊かな心の育成</li> </ol> </li> <li>2 今を生き抜く力の養成               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力の向上</li> <li>(2) 社会の変化への対応</li> <li>(3) 健康に関する教育と支援の推進</li> </ol> </li> <li>3 若者の職業的自立、就労等支援               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 働く意欲、職業能力の養成</li> <li>(2) 就労等支援の充実</li> </ol> </li> <li>4 子ども・若者の自立を育む多様な交流</li> </ol>
	II 困難を抱える子ども・若者やその家族への支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 困難を抱える子ども・若者の総合的な支援               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子ども・若者支援地域協議会の設置促進と活性化</li> <li>(2) 子ども・若者に関する相談体制の充実</li> </ol> </li> <li>2 困難な状況に応じた取組               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの貧困問題への対応</li> <li>(2) 児童虐待防止対策</li> <li>(3) 外国人の子ども・若者の支援</li> <li>(4) 自殺対策</li> <li>(5) 障害等のある子ども・若者の支援</li> <li>(6) 学校におけるいじめへの対応、不登校の子どもの支援</li> <li>(7) 若年無業者等の若者の支援</li> <li>(8) ひきこもりの若者の支援</li> <li>(9) 性的少数者に対する理解促進</li> <li>(10) 非行防止、非行・犯罪に陥った子ども・若者の支援</li> </ol> </li> </ol>
	III 子ども・若者の成長のための地域社会づくり	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭、学校、地域全体で子ども・若者を育む環境づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者等への積極的な支援</li> <li>(2) 「チームとしての学校」と地域との連携・協働</li> <li>(3) 地域全体で子どもを育む環境づくり</li> </ol> </li> <li>2 地域で子ども・若者を支える担い手の育成</li> <li>3 子ども・若者が安心して暮らせる社会環境づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 有害環境への対応</li> <li>(2) 子ども・若者の福祉を害する犯罪対策</li> <li>(3) 子ども・若者が犯罪等の被害に遭わないまちづくり</li> </ol> </li> <li>4 子育て支援等の充実</li> <li>5 ワーク・ライフ・バランスの推進</li> </ol>
	IV 未来をつくる子ども・若者の活躍促進	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 愛知の産業の担い手となる人材の育成</li> <li>2 グローバル社会で活躍する人材の育成</li> <li>3 世界で活躍するスポーツ選手、芸術家の育成</li> <li>4 社会貢献活動等に取り組む若者の応援</li> </ol>

## 乳幼児期

おおむね5歳まで

## 学童期

おおむね6～11歳

## 〈施策目標〉

## 【体制整備】

▼地域における子ども・若者育成支援ネットワークの充実 ▼スクールソーシャルワーカーの

I  
全ての子ども・  
若者の健やか  
な育成

## 【健やかな体と豊かな心の育成】

▼幼児向け自然体感プログラムの提供

## 【健やかな体と豊かな心の育成】

▼小学生親子向けトップアスリートとの運動講習会の開催 ▼食育

## 【今を生き抜く力の養成】

▼道徳教育サイト「モラルBOX」を活用した情報モラル教育

▼読書活動の推進 ▼高校生防災セミナーの実施

## 【自立を育む多様な交流】

▼中学生による少年の主張愛知県大会の開催

II  
困難を抱える  
子ども・若者  
やその家族  
への支援

## 貧困

【生活支援】▼子ども食堂運営ボランティア向け講座の実施

【教育の支援】▼生活困窮者向け

施設と就労支援機関「地域若者サポートステーション」の連携促進

【保護者に対する生活支援・

## 児童虐待

【相談体制の充実】▼児童相談センターの弁護士配置等による体制強化 ▼専門ダイヤル☎189(いちば

## 外国人

【保護者等への支援】▼「多文化子育てサロン」の実施

【教育の充実】▼語学相談員の派遣

## 自殺

【相談活動の充実】▼スクールカウンセラー等の配置 ▼子ども

## 障害

【特別支援教育の充実】▼障害の状態に応じた支援や指導の実施

【就労支援】▼就労アドバ

いじめ  
不登校

【相談・指導体制の充実】▼家庭教育コーディネーターとの相談 ▼

【多様な学びの機会の提供】▼城北つばさ高等学校での学校づくり

若年無業者  
ひきこもり

## 性的少数者

【理解の促進】▼講演会・研修会等の実施、パンフレット

## 少年非行

【非行防止活動等の充実】▼街頭補導活動の実施 ▼非行防止

III  
子ども・若者  
の成長のため  
の地域社会  
づくり

## 〈各年代共通〉

【家庭、学校、地域全体で子ども・若者を育む環境づくり】▼「親の学び」学習プログラムを活用した

【地域で子ども・若者を支える担い手の育成】▼ボーイスカウト・ガールスカウト始め青少年団体の

【子ども・若者が安心して暮らせる社会環境づくり】▼「保護者のためのネットモラル塾」の実施

【子育て支援等の充実】▼毎月19日「子育て応援の日(はぐみんデー)」の普及促進 ▼「はぐみんカード」

【ワーク・ライフ・バランスの推進】▼「ファミリー・フレンドリー企業」の登録推進 ▼管理職等の意識

IV  
未来をつくる  
子ども・若者  
の活躍促進

## 【愛知の産業の担い手となる人材の育成】

▼小・中学生向け技能大会「アイチータ杯」の開催

▼「出張発明クラブ」の開催

▼中学生向け漁業に関する学習会の実施

## 【グローバル社会で活躍する人材の育成】

▼オリンピック・パラリンピックを通じた国際的視野を持った人材の育成

## 【社会貢献活動等に取り組む若者の応援】

▼奉仕活動が顕著な青少年・青少年団体の表彰 ▼子ども・若者が自らの考えを発言できる場の提供

成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして

※年齢は目安として示したものであり、対象者はこれに縛られるものではありません。

## 思春期

おおむね12～17歳

## 青年期

おおむね18～29歳

## ポスト青年期

おおむね30～39歳

配置拡充始め学校における相談体制の充実 ▼児童相談センターによる相談・判定指導始め地域における相談体制の充実 等

推進者の育成  
の実施

### 【若者の職業的自立、就労等支援】

- ▼学卒者職業訓練の実施
- ▼「ヤング・ジョブ・あいち」による職業適性診断・職業相談・職業紹介・キャリアコンサルティング

### 【自立を育む多様な交流】

- ▼学生消防団交流シンポジウムの開催 ▼地域コミュニティの中核「総合型スポーツクラブ」の育成

学習支援 ▼奨学給付金の支給 ▼高校中退者等に対する高卒認定試験合格に向けた無料の学習支援 **【就労支援】** ▼就労支援  
**就労支援** ▼ひとり親家庭の親同士、親子の交流の場を提供 ▼母子家庭等就業支援センターにおける就業支援講習会の実施

やく)での24時間365日相談対応

**【就職の支援】** ▼職業訓練の実実施等 **【相談・支援体制の充実】** ▼多文化ソーシャルワーカーによる多言語での相談・情報提供

SOSホットライン24②0120-0-78310等での相談対応 **【総合的な自殺対策の推進】** ▼精神疾患等の正しい知識やゲートキーパーに関する啓発

イザーの配置 ▼障害者職業訓練の実施 **【発達障害のある子ども・若者への支援】** ▼あいち発達障害者支援センターでの相談  
大学生等を「ホームフレンド」として派遣

**【就労支援】** ▼「ヤング・ジョブ・あいち」による職業適性診断、職業相談、職業紹介

**【再チャレンジへの支援】** ▼就労支援機関「地域若者サポートステーション」との連携によるマッチング機会の拡充

**【ひきこもり総合支援】** ▼ひきこもり地域支援センターによる相談対応 ▼ひきこもり支援サポーターによるアウトリーチ

の作成

の啓発 ▼愛知学園による自立支援 ▼立ち直り支援活動の充実

講座の実施 ▼「家庭の日」県民運動の実施 ▼放課後児童クラブの支援員育成のための研修の実施

育成 ▼中高年・シニア世代を環境学習の講師として養成

▼愛知県青少年保護育成条例に基づく有害環境対策としての立入調査の実施 ▼交通安全県民運動の実施 ▼防犯教室の実施  
の配付による子育て家庭への優遇

啓発のための「イクボス養成講座」の実施

### 【愛知の産業の担い手となる人材の育成】

- ▼高校等への「あいち技能伝承バンク」によるあいち技の伝承士の派遣 ▼技能検定・技能顕彰の実施 ▼STEM教育の実施
- ▼航空機製造現場への見学及びセミナーの実施 ▼農業系高校によるGAP(農業生産工程管理)教育の推進

### 【世界で活躍するスポーツ選手、芸術家の育成】

- ▼東京オリンピックに向けた強化指定選手の競技力強化 ▼新進芸術家の育成

### 【グローバル社会で活躍する人材の育成】

- ▼高校でのALT(外国語指導助手)の配置促進
- ▼指定校での「あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業」の実施



▼「あいち子ども・若者への応援メッセージ集」の作成・配付

株式会社デンソー 製造チームチャレンジ  
技能五輪国際大会 金メダリスト  
技能五輪ヘッドコーチ

## 最上 拓さん(写真中)



### プロフィール

氏名:最上 拓(もがみ たく)  
生年月日:1993年4月28日  
出身地:岩手県(愛知県岡崎市在住)

**主な経歴等** ▶ 小学生の時、地元の岩手県で開催された全国大会で技能五輪と出会う。中学を卒業後、金メダルを目標に、愛知県のデンソー工業学園に入社。  
三回全国大会に挑戦するも優勝ならず、最後のチャンスとして三人一組で競技する“製造チームチャレンジ職種”にて第44回技能五輪国際大会に出場し、金メダルを獲得。  
現在、ヘッドコーチとして選手育成に励む。

### メッセージ

なんてすごいんだ！全国大会で素早く手を動かす技能五輪選手たちが目に焼き付き、自分の道を決めた瞬間でした。憧れたものに真直く向かうには勇気が必要でした。この勇気の先には、厳しい競争の世界とそれに立ち向かう力を与えてくれる指導員や仲間との出会いでした。

私は、一人では成し得なかった世界一を二人の仲間と共に掴みました。お互いに切磋琢磨しながら真剣に世界一を目指し、本当のチームワークを手に入れたことが私の財産です。

憧れに向かっていこう、真剣に仲間と取り組もう、必ず達成できる。

私も次の憧れに向かっていきます。

お笑いタレント

## キンタロー。さん



### プロフィール

氏名:キンタロー。  
生年月日:1981年10月24日  
出身地:愛知県岡崎市

**主な経歴等** ▶ 大学時代に始めた競技ダンス(ラテン)で全国4位の成績を収める。その後、社交ダンス講師・OLなどを経て、2011年松竹芸能タレントスクール入学。2012年4月、30歳にしてピン芸人としてデビュー。デビュー1年で、前田敦子さん、光浦靖子さんなどのものまねネタでブレイクを果たす。  
2017年10月、競技ダンスの世界大会「WDSFラテンシニア1世界選手権」でアジア人歴代最高の7位の成績を残すなど、社交ダンスの世界でも活躍中。

### メッセージ

どーも！良い子！強い子！元気な子！キンタロー。です！！  
…と言いつても、実は私には強くも元気でもなかった時代があります。友達から突然仲間はずれにされた中学時代です。ショックが大きく、学校も休みがちになり、私が悪いんだと深く悩みました。

そんな私ですが、高校時代のホームステイで出会った友達をきっかけに立ち直ることができました。新たな扉をあけたのです。克服するにはズバリ、行き止まりになってしまったら新しい道を見つけて進む事です。家にいて、ただただ落ち込み悩み期間も勿論あっていいと思います。ただ、昔の私にアドバイスできるとしたら、悩み期間には期限をつけよう！と言いたいです。自分でこの日まで悩んでいいと期限を与えてあげるのです。そしてその期間は、とことんそれについて悩み！期限がきたら、新しい何かをはじめてみる！是非試してください。

「中学生時代は悩みに悩んで大丈夫！沢山悩んだやつがむしろ成功するんだ！」と言ってくれた人もいて、その言葉にもとても救われました。今は悩んでも大丈夫なんだ！と思い、乗り越えて欲しいです。皆さまの未来の飛躍を期待しています。

漫画家

## 棚園 正一さん



### プロフィール

氏名:棚園 正一(たなその しょういち)  
生年月日:1982年7月26日  
出身地:愛知県清須市

**主な経歴等** ▶ 13歳の時に漫画家、鳥山明氏に出会い、漫画家を目指す。小・中学校で不登校を経験。専門学校卒業後、大学入学資格を取得し、名古屋芸術大学に進学。2007年卒業。集英社少年ジャンプ第70回手塚賞、第68回赤塚賞を受賞。講談社 月刊少年マガジンにてデビュー。小学館ビッグコミックスベリオールにて「マスター〜見晴先生の病院訪問授業〜」を不定期連載中。  
現在、河合塾美術研究所こども教室等で講師を務める他、各所で不登校をテーマとした講演等を行う。著作:「学校へ行けない僕と9人の先生」(双葉社)、「マンガうんちく名古屋」(KADOKAWA)

### メッセージ

僕は小学校、中学校の9年間、不登校児でした。  
実体験をもとに描いた漫画「学校へ行けない僕と9人の先生」に対する多くの反響をいただき、不登校の状態にあるご本人だけでなく、ご両親や関係する皆さんが、苦しみながら必死で「正解」を探していることに気がきました。  
僕は、学校というものが絶対必要とは思いませんし、必要とも思いません。ただ、もし「正解」と呼べるものがあるとすれば、悩み、苦しみが考え続け、行動する事こそが、その人だけの「正解」に繋がっていると信じています。  
不登校の状態になって苦しんだ事、不登校となったからこそ出会った人たち、その全てが今の自分に繋がっています。  
そして漫画家としての自分がいます。  
不登校を経験して大人になった今の自分の言葉で、少しでも背中への重荷が軽くなってくれる人がいたら嬉しいです。  
「つまずいても転んでも大丈夫！精一杯、自分が頑張っていると思えば！」



女子レスリング金メダリスト

## 吉田 沙保里さん



(C) YSW Tokyo Inc.

### プロフィール

氏名:吉田 沙保里(よしだ さほり)  
生年月日:1982年10月5日  
出身地:三重県  
練習拠点:愛知県

**主な経歴等** ▶ レスリング選手兼女子日本代表コーチ。  
父・栄勝さんが指導する自宅道場で、3歳からレスリングを始める。  
2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドンオリンピック金メダリスト。  
世界選手権大会、オリンピックを通じて世界大会13連勝を成し遂げ、国民栄誉賞を受賞。2016年里オデジャネイロオリンピック銀メダリスト。  
世界大会16連勝、個人戦206連勝の記録を持つ。

### メッセージ

夢 追人

いつまでも夢を追い続ける人でありたい  
誰もがみんな夢を追い続ける人であってほしい

プロバレーボール選手

## 石川 祐希さん



写真提供: テサントジャパン(株)

### プロフィール

氏名: 石川 祐希(いしかわ ゆうき)  
生年月日: 1995年12月11日  
出身地: 愛知県岡崎市  
身長: 191cm

**主な経歴等** ▶ プロバレーボール選手。ポジションはアウトサイドヒッター、最高到達点は351cm(スパイク)。星城高校在学時に二年連続で、高校三冠(インターハイ、国体、春高)、全日本バレーボール高等学校選手権大会・最優秀選手賞を受賞。中央大学在学時の2014年、全日本男子チームに初招集。2015年ワールドカップ・セカンドベストアウトサイドスパイカー賞受賞。2017年第19回アジア男子選手権大会・ベストアウトサイドスパイカー賞/MVPを受賞。  
2018年、大学卒業後、プロとしての最初のシーズンをイタリアのバレーボールリーグ・セリエA1部のエー・ヴィラ・シエナでスタートし、世界のトップリーグに挑戦。

### メッセージ

私が伝えたいメッセージは、「自分を応援してくれる人が、自分の近くに必ずいることを信じる」です。

私は小学校4年生からバレーボールをはじめ、中学、高校、大学とバレーボール中心の毎日を過ごしてきました。今はイタリアの地でプロバレーボール選手として競技生活を送っています。

今でもバレーボールが続けられているのは、共に汗を流し、喜びや悔しさを分かち合ったチームメイト、自分よりも早く起きてお弁当を作ってくれ、駅までの送り迎えをしてくれた家族、バレーボールを教えてくれた指導者のおかげであり、心から感謝しています。

皆さんも自分の近くに、自分を励まし応援してくれる人、自分が辛い時に手を差し伸べてくれる人、逆に、誰かが困っていたら自分が助けたいと思える人が必ずいることを忘れないでください。

CGクリエイター

## 岩木 勇一郎さん



芸術祭愛知展出演、IT pro EXPO 2016での講演、大学などの講演・講演、NHK総合「まるっと」出演等。

### プロフィール

氏名: 岩木 勇一郎(いわき ゆういちろう)  
生年月日: 1973年12月23日  
所属: 株式会社スピード 代表取締役  
プロデューサー・映画監督  
活動拠点: 愛知県瀬戸市

**主な経歴等** ▶ CG・アニメーション・VFX映像制作を行う株式会社白船に入社。東京で活躍する一方、ふるさとの瀬戸市でCGを通じて将来のIT産業を担う子どもたちを育成する「Seto CG Kid's Program」を開講。2012年には、CGを志す愛知の若者の就労の受け皿となる株式会社スピードを設立。その後も、愛知県のデジタルコンテンツ発展に貢献。最近では、ご当地CGアニメ「猫企画」を企画・制作。また、医療分野に進出するなど、産学官連携をさらに進化させている。愛知県デジタルコンテンツ活用促進事業での基調講演、文化庁メディア

### メッセージ

「考えること、考え続けること」

考え続ければ、道は拓けます。未来を創造するのは、考え続ける力です。家族、学校、社会、あなたの世界はどんどん広がり、進化します。

今の価値観を過信しないように。

仕事で嫌なことがあったら、どうやって気持ちを切り替えますか？

と聞かれたら、こう答えます。

スッキリ切り替えが出来ることはありません、悩みを抱えたまま考え、進みます。

自分が得意だと思っていることと、周りから求められることは違ったりします。

迷うこともあるでしょう。

でも、大丈夫。

半歩進むだけで、景色は違うもの。

迷ったって構いません。

凄くネガティブになってしまったら、寝てみよう。

起きたらまた考えよう。

考え続ければ、必ず、必ず道は拓けます。

車椅子のアーティスト

## 佐野 有美さん



### プロフィール

氏名: 佐野 有美(さの あみ)  
生年月日: 1990年4月6日  
出身地: 愛知県豊田市

**主な経歴等** ▶ 四肢にあるのは短い左足と3本の指の、先天性四肢欠損症で生まれる。高校在学中にチアリーディング部に所属し、マスコミで話題となる。その後、アーティストとして活動。歌で気持ちを伝えるため、リリースした曲はすべて自身で作詞。アルバム「あきらめないで」が2011年「輝く!日本レコード大賞」企画賞を受賞。2015年には東京コレクションのモデルに起用された他、NHKでドラマでのヒロインに抜擢。現在、テレビ・新聞・雑誌等メディアの取材や、多方面からの歌や講演依頼を受ける。

### メッセージ

みなさんは何かに挑戦していますか？

私は小学3年生の時、みんなに「危ない」と止められてもどうしても泳ぎたくて、練習を重ね100m泳ぐことができました。また、友達がお化粧するのを見て「自分もキレイになりたい!」と足でお化粧もできるようになりました。

「やりたい」という強い気持ちは私に「自分のやる方法を考える」という知恵を授けてくれました。やりたいことは失敗してもいいのでどんどんチャレンジしてください。

振り返ると「同じ」や「くらべる」ということは、見た目が違う私にはつらい時期もありました。その時、母の「有美は有美らしくが一番」という言葉に、心が軽くなりました。

誰もが自分らしく生きればよい。つらく苦しい時は、自分探しの旅の途中だと思って勇気を出して途中下車してみてください。差し伸べられる手はいつでもあなたのそばにあります。自らと向き合い、どんな時も自分を信じ一歩一歩、前を向いて歩き続けてください。

愛知子ども食堂ネットワーク 共同代表

## 山崎 正信さん



### プロフィール

氏名: 山崎 正信(やまざき まさのぶ)  
生年月日: 1948年8月31日  
所属: あいち子ども食堂ネットワーク 共同代表  
いきいき塾NPO 代表理事  
活動拠点: 愛知県白進市

**主な経歴等** ▶ 2008年10月いきいき塾NPO設立、代表理事に就任。  
2008年11月中日新聞などや東版に、定年退職者居場所作りたまり場サロン開設に関する記事が掲載される。  
2016年6月に日進絆子ども食堂キックオフ講演会を開催。2017年1月より第二日曜日に日進絆子ども食堂を開設。2017年6月愛知子ども食堂ネットワークの共同代表に就任。

### メッセージ

私の中学、高校時代を振り返りますと、心身共に大きく成長ができた時期でした。同時に、自我の目覚めや自分自身の発見もあり、複雑な時期でもありました。そのとき私を支えてくれたのは、学校でもない、家庭でもない、集落(岐阜県揖斐郡徳山村)の地域の人たちでした。母親の帰りが遅くなるとは、隣家で夕飯をいつもごちそうになりましたし、雪が多くて通学ができない12月から3月までは、共に寮生活をしてきた仲間と将来の夢や進むべき進路の相談をする機会がありました。

現在のように、格差社会、核家族社会では「寄り添う」居場所が少なく、相談者もいないと思い、子ども食堂を立ち上げたわけです。

子ども食堂は、地域の子もたちが誰でも来られて、ご飯も食べられるし、そこで勉強もできるし、遊ぶこともできる、「自由度」の高い場です。愛知県には90か所程の子ども食堂が開設されています。

どうか、一度近くの子ども食堂に足を運んでください。

あなたの居場所が見つかると思います。



NPO法人トルシーダ 理事長

## 伊東 浄江さん



### プロフィール

氏名:伊東 浄江(いとう きよえ)  
生年月日:1957年6月29日  
所属:NPO法人トルシーダ 理事長  
活動拠点:愛知県豊田市

**主な経歴等** ▶ 2003年にトルシーダを立ち上げ、学校へ行っていない不就学の外国人の子どもの居場所づくりとして日本語教室を実施。

活動の様子は日本経済新聞出版社「ルポ日本の縮図に住んでみる」、朝日新聞「いま子どもたちは」等で取り上げられる。

2012年愛知県多文化共生社会づくり表彰、2017年内閣府子供と家族・若者応援団表彰を受賞。

### メッセージ

みなさん、こんにちは！

私は、外国から来た子どもや若者の支援をしています。彼らは日本語が分からなかったり、習慣が違ったりすることで社会から孤立しがちです。でも、それは外国人特有のことでしょうか。

人間関係に悩んだり、社会に居場所がなかったりする「人がいる」と言われますが、それは誰にでも起こる「ときがある」と、私は感じています。そんなとき大切なのは「助けて」と言える強さを持つことだと思います。

人は人のためなら頑張るといいます。手を差し伸べる人は必ずいます。私自身も支援しながら、子どもたちのあたたかい気持ちに励まされます。「助けて」の一言を、つながり支え合い、共に歩む関係をつくる、勇気ある言葉としてみなさんに贈りたいと思います。

～困ったときに助けてと言える強さを持つよう！～

on the Ground Project 代表

## 市川 武史さん



### プロフィール

氏名:市川 武史(いちかわ たけし)  
生年月日:1982年9月24日  
所属:on the Ground Project 代表  
株式会社エニシア 代表取締役  
活動拠点:愛知県名古屋

**主な経歴等** ▶ 大学在学中、新聞社にて記者として活動。紙面の企画や、取材、原稿執筆を行い、LGBTの特集を中心に、経営者、作家、政治家などの取材を行う。大学卒業後、Web制作会社に営業/ディレクターとして勤務。在職中に「仕事のご縁をいただきたい人について徹底的に調べ、手紙やメールでアプローチする」考え方・営業手法が注目され、NHK「めざせ!会社の星」にて紹介される。2012年に株式会社エニシアを設立。現在は、on the Ground Project(オンザグラウンドプロジェクト)を立ち

上げ、LGBTが働きやすい環境づくりのため、研修・講演活動を行っている。

### メッセージ

自分自身が同性愛者(ゲイ)だと意識し始めたのは高校に入ってからのことです。それから、「なぜ生まれてきてしまったのだろう」と毎日のように泣く日々が続きました。大学卒業後、就職してからは高校生の時に悩んだ経験から「温かい社会をつくりたい」と思い、本やテレビを見て「一緒に仕事をしたい」と思った方に手紙を書いて、多くの方とご縁をいただきました。

そうしてできた点と点が繋がり、周りを見てみると、高校生の時にはひとりぼっちで誰にも言えずに悩んでいたにも関わらず、多くの応援してくれる人に囲まれ、現在は起業をしてLGBTを軸にしたダイバーシティ(多様な人材が働きやすい環境づくり)に関する事業を行っています。

「自分は周りや違う」と悩んでいること、あなたが感じる社会への小さな違和感は、「みんなが過ごしやすい社会」につながるヒント。環境が人をつくると言いますが、その環境は自分でつくることができます。

小さな行動が周りの人を変え、社会を変えていきます。  
みんなで一緒に温かい社会をつくりましょう！

NPO法人再非行防止  
サポートセンター愛知 理事長

## 高坂 朝人さん



### プロフィール

氏名:高坂 朝人(たかさか あさと)  
生年月日:1983年6月11日  
所属:NPO法人再非行防止  
サポートセンター愛知 理事長  
活動拠点:愛知県名古屋

**主な経歴等** ▶ 2014年にNPO法人再非行防止サポートセンター愛知を立ち上げ、非行少年を支援するための取組を行う。

2015年に自立準備ホームを開所し、さまざまな事情で親元に住むことのできない保護観察中の少年・少女に対する、住まいの支援を行う。

支援を行ってきた非行少年・少女は95名程。

活動が認められ、社会貢献支援財団や法務省高松矯正管区等から表彰される。第3回世界保護観察会議、内閣府青少年問題調査研究会等で講演。NHK「目撃!日本列島」、朝日新聞「フロントランナー」等で取り上げられる。

### メッセージ

僕は、非行少年だった。

中1の時、勉強や部活がうまくいかなくて、自分はダメなやつだと思った。規則違反をした時に、友人から「スゴイ!」と言われて、認められたと感じた。非行が徐々に始まり、非行グループに加入したが、地獄への入り口になった。

鑑別所、少年院に入っても、非行を繰り返した。

24歳の時に、妻が妊娠して、我が子を不幸にしたいと思いき、生き直しを決めた。

しかし、仕事も人間関係もうまくいかなかった。

でも、「再非行を減らし笑顔を増やす」という「夢」と、大切な『家族』があった。

99%努力を重ねたら、お金では買えない1%の幸せが訪れることを実感。

努力は、幸せへの確実な道。

自分と未来は変えられる。でも、一人では変えられない。